


ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報

組織名・所属	ゆとり研究所				
役職	所長				
氏名	野口 智子	ふりがな	のぐち ともこ	生年	
連絡先	住所		〒		
	固定電話			携帯電話	
	メールアドレス	<a href="mailto:yutori@noguchi-tomoko.com">yutori@noguchi-tomoko.com</a>			

2. 経歴・取組内容、取組分野等

主な経歴・受賞歴	<p>1977年 静岡県で企画・編集会社設立。</p> <p>1992年 「ゆとり研究所」を開設。静岡県で商店街活性化手法「一店逸品運動」を始める。着地型観光を進める。</p> <p>2003年 特定非営利活動法人スローライフ・ジャパンを設立、事務局長に就任、現在副理事長。</p> <p>2006年 拠点を東京に移し、住民参加による観光おこし、まちづくりをコンサルティング。参加のコーディネート、独自のワークショップの企画運営、地域づくりができる人材育成など。</p> <p>2023年から「つながりコーディネーター」という言葉を使います。</p> <p>◆総務省 地域力創造アドバイザー（地域人材ネット登録）</p>	
取組内容・実績等	<p>2009年から現在まで。スローライフの視点で地域おこしについて語り合う研究会「さんか・さろん」を月に一回企画・コーディネート。</p> <p>2014年から2022年まで。「谷瀬の集落づくりアドバイス事業」（奈良県十津川村谷瀬）移住定住促進のための集落形成を進めるソフト分野の住民参加ワークショップの運営。</p> <p>2018年から2021年まで「地域力創造アドバイス事業」（長崎県雲仙市）「人材」で切り拓く協働のまちづくり、「雲仙人（くもせんじん）プロジェクト」を住民参加で企画運営。住民が講師になって仕事や想いを語る「雲仙人（くもせんじん）サロン」を26回開催。モノづくりコトおこしをしている住民を紹介し関係人口を増やす冊子『あいこいかんば雲仙人』を製作。地域おこし協力隊の指導ほか。</p> <p>2019年「池田町観光振興計画」（北海道池田町）計画のための住民参加ワークショップのコーディネート。</p> <p>2022年「東の街まちづくり委員会」（神奈川県横浜市）マンション住民参加のまちづくりワークショップを企画運営。「東の街 つながるフェス」など。2022年から「富岡市円卓会議」（群馬県富岡市）公民館単位で住民がまちづくりについて語るワークショップを企画運営。5地区。</p>	
取組分野（テーマ）	● 観光	（地域のさりげない魅力を、住民と一緒に磨きながら観光資源にしていく。特に人の魅力を引き出す）
	● 移住・定住・関係人口	（住民だけでなく、当初から地域外の人も混ざり、コトを起こし、関係人口に繋げる）
	● 農林水産業	（
	● 起業支援	（
	● まちなか再生	（
	● 集落再生	（
	● 環境	（
● その他	（単なるファシリテートではない、繋がり場を上手くコーディネートして住民が行動できるまで後押しをする）	

3. 関連ホームページ	
名称	アドレス
野口智子オフィシャルホームページ	<a href="http://noryuchi-tomoko.com/modules/vtorigaruki/">http://noryuchi-tomoko.com/modules/vtorigaruki/</a>
NPOスローライフ・ジャパン	<a href="http://www.slowlife-japan.jp/">http://www.slowlife-japan.jp/</a>
4. ふるさと財団での実績	
外部 専 門 家  活 用 助 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2015年度～2016年度 和歌山県紀の川市 「フルーツ・ツーリズムの展開によるファン獲得プロジェクト」</li> <li>◆2010年度～2011年度 新潟県胎内市 「米粉を軸とした地域食材の活用による商品開発」</li> </ul>
外部 専 門 家 派 遣  ( 短 期 診 断 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2021年度 長崎県雲仙市『雲仙人プロジェクト』による地域活性化事業</li> <li>◆2019年度 群馬県中之条町</li> <li>◆2018年度 福島県古殿町</li> <li>◆2017年度 北海道美唄市</li> <li>◆2016年度 長野県筑北村</li> <li>◆2013年度 和歌山県紀の川市</li> <li>◆2012年度 栃木県那須塩原市</li> </ul>
地 域 再 生	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆2015年度 東京都 セミナーテーマ:「住民パワーで地域を元気に」</li> <li>◆2011年度 北海道 道東地区 セミナーテーマ:「地域資源を活用した地域再生戦略」</li> </ul>
そ の ほ か	
5. 財団報告書	
名称	アドレス
令和3年度 新・地域再生マネージャー事業	<a href="https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/45ff1a477f455b10821212c56a1abe1c.pdf">https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/45ff1a477f455b10821212c56a1abe1c.pdf</a>
令和元年度 新・地域再生マネージャー事業	<a href="https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/R1chikisaisaihoukoku.pdf">https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/R1chikisaisaihoukoku.pdf</a>
平成30年度 新・地域再生マネージャー事業	<a href="https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2019/06/H30chikisaisaihoukoku.pdf">https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2019/06/H30chikisaisaihoukoku.pdf</a>
平成29年度 新・地域再生マネージャー事業	<a href="https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/H29chikisaisaihoukoku.pdf">https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/03/H29chikisaisaihoukoku.pdf</a>
平成28年度 新・地域再生マネージャー事業	<a href="https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/06/H28_chikisaisai_houkokusyo.pdf">https://www.furusato-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/2017/06/H28_chikisaisai_houkokusyo.pdf</a>
平成27年度 新・地域再生マネージャー事業	<a href="http://www.furusato-zaidan.or.jp/H27jgyouhoukokusyo.pdf">http://www.furusato-zaidan.or.jp/H27jgyouhoukokusyo.pdf</a>
平成26年度 新・地域再生マネージャー事業	<a href="http://www.furusato-zaidan.or.jp/H26jgyouhoukokusyo.pdf">http://www.furusato-zaidan.or.jp/H26jgyouhoukokusyo.pdf</a>
平成25年度 新・地域再生マネージャー事業	<a href="http://www.furusato-zaidan.or.jp/H25jchikisaisai-jgyouhoukokusyo.pdf">http://www.furusato-zaidan.or.jp/H25jchikisaisai-jgyouhoukokusyo.pdf</a>
平成23年度 新・地域再生マネージャー事業	<a href="http://www.furusato-zaidan.or.jp/3-H23-shinchikisaisaiM-houkokusho.pdf">http://www.furusato-zaidan.or.jp/3-H23-shinchikisaisaiM-houkokusho.pdf</a>
6. 写真・ひとことPR	
	<p>&lt;ひとことPR&gt;</p> <p>じっと黙って下を向いている人でも、笑顔で問いかければ必ず何か意見を出されるものです。難しい言葉では話せなくても、会合に自作の漬物を持ってくる女性は、それが彼女の発信なのです。そんな思いで、いつも住民参加のコーディネートをしています。小さなことでもみんなで積み上げた発案は尊いものです。そしてそれを実践すれば何かが変わるはず。即、お金にならなくても、動き出すことが大事。あとからお金はついてくるのではないのでしょうか。近年、繋がりづくりが重要と言われますが、カタカナ言葉を振り回すより、人間力で繋がり場の場づくりをしていきたいと思っています。</p>